



2019年5月28日

サノフィが支援する新たな日本糖尿病学会賞 「女性研究者賞」創設

- 女性医師の糖尿病研究業績を表彰 -

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジャック・ナトン、以下「サノフィ」)は、糖尿病研究における女性医師の業績を表彰する趣旨にて新設された、日本糖尿病学会賞「女性研究者賞」に賛同し、同賞へのサノフィ単独での支援をこのたび決定しました。一般社団法人 日本糖尿病学会(理事長:門脇 孝、所在地:東京都文京区、以下「日本糖尿病学会」)では、第62回日本糖尿病学会年次学術集会(5月23日から3日間、於 仙台市)にて、初年度の受賞者の発表および授与式を行いました。

受賞者(所属)	浅原 哲子 先生(独立行政法人国立病院機構京都医療センター臨床研究センター 内分泌代謝高血圧研究部長)
研究業績	大規模コホートを基盤とした糖尿病・肥満症における心腎脳合併症の早期評価系と治療戦略の構築に関する研究

日本糖尿病学会の会員医師に占める女性医師の割合は約3割と、国内の医師総数に占める女性医師の割合(約2割)を超えています¹。またサノフィはダイバーシティを推進し女性の活躍支援に取り組んでいることから、さらなる女性研究者の活躍を目指した本賞の支援を決定しました。受賞者は毎年1名、顕著な糖尿病研究業績をあげた会員の女性医師から選ばれ、日本糖尿病学会の年次学術集会にて、盾と奨励金50万円が授与されます。

授与式では、日本糖尿病学会の門脇 孝理事長より「浅原先生の糖尿病研究へのご尽力による業績に深謝するとともに、今後のますますのご活躍を祈念します」と祝辞が述べられ、受賞された浅原先生は、「今回の受賞を大変嬉しく思っています。後進の女性医師の活躍が促進されていくことを願い、引き続き研究に邁進していきたい」と抱負を述べられました。

サノフィ代表取締役社長のジャック・ナトンは、「浅原先生に心よりお祝い申し上げます。また糖尿病治療に貢献されている先生方をサポートできることを、大変光栄に思います。サノフィは日本の糖尿病の予防と治療への貢献はもとより、女性の活躍推進に向けた取り組みに今後も傾注してまいります」とコメントしています。



授与式にて。右よりプレゼンターの熊本大学教授 荒木 栄一 先生、浅原 哲子先生

以上

¹ 日本糖尿病学会「女性糖尿病医サポートの取り組み」より http://www.jds.or.jp/modules/education/index.php?content_id=25



一般社団法人日本糖尿病学会について

日本糖尿病学会は、1957年12月、糖尿病学の進歩・発展を図り、国民の災害を防止することを目的とした任意団体として設立されました。創立以来、糖尿病の成因と治療に関する学術研究活動を継続し発展させてきたと同時に、その社会的使命を果たすべく、糖尿病の治療環境の向上を目指した活動を行ってきました。2012年には一般社団法人日本糖尿病学会として現在に至り、2019年度現在の会員数は17,000名を超えます。

サノフィについて

サノフィは、健康上の課題に立ち向かう人々を支えます。私たちは、人々の健康にフォーカスしたグローバルなバイオ医薬品企業として、ワクチンで人々を守り、革新的な医薬品で痛みや苦しみを和らげます。希少疾患をもつ少数の人々から、慢性疾患をもつ何百万もの人々まで、寄り添い支え続けます。

サノフィでは、100カ国において10万人以上の社員が、革新的な医科学研究に基づいたヘルスケア・ソリューションの創出に、世界中で取り組んでいます。

サノフィは、「Empowering Life」のスローガンの下、ヘルスジャーニー・パートナーとして人々を支えます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<https://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。